

# リニア中央新幹線についての定点観測アンケート ～リニア開業延期に対する地域の意識～

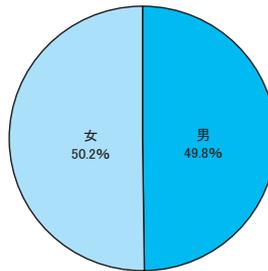
当研究所が毎年定期的実施している「リニア中央新幹線についての意識調査」アンケートの令和6年度調査を本年2月に実施した。昨年3月にJR東海がリニア工事の完成が10年以上遅れることを表明して以降初のアンケート調査となる。

## 1 調査票回収、回答者の属性状況

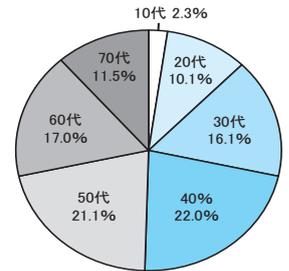
アンケート調査は『飯伊地区産業経済動向』（以下『動向』）の調査先および発送先（読者）と当金庫営業店窓口等でお取引先様に広くご協力をお願いした。アンケート回収数は227と多くの回答をいただき、皆様のご協力を厚く御礼申し上げます。

回答者は女性が男性を1名上回った。回答者の年齢区分、住所、職業はそれぞれ右グラフの通りとなっている。

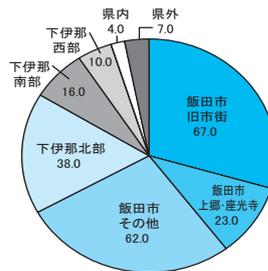
Q 回答者の性別



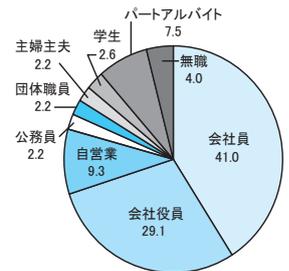
Q 回答者の年齢



Q 回答者の住所



Q 回答者の職業



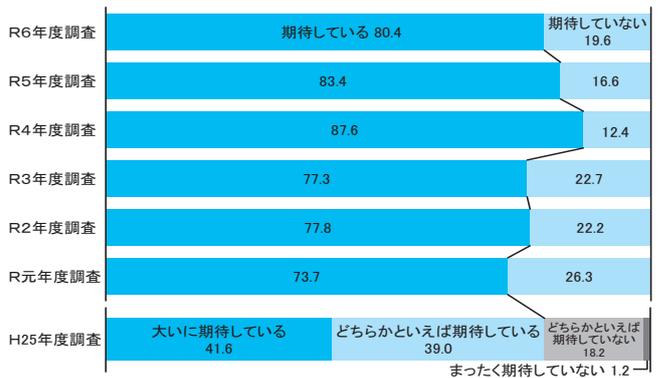
## 2 リニア新幹線への期待と不安

恒例の「Q リニア中央新幹線に期待していますか」は、「期待している」が8割台を維持しているものの、前年調査のそれを3ポイント下割る結果となった。「Q リニア中央新幹線に不安を感じますか」も「不安を感じる」が僅かであるが前年度調査を上回っている。「Q リニア中央新幹線に期待していますか」の「期待できない」理由に「外部からの（ヒト、モノ、カネの）流入に期待できない」31.1%（期待できない理由総数に対し、以下同様）、「駅の賑わい施設が期待できない」11.5%を抑えて「リニア開通時期が不明」がトップの42.6%（前年度50.0%）となっている。

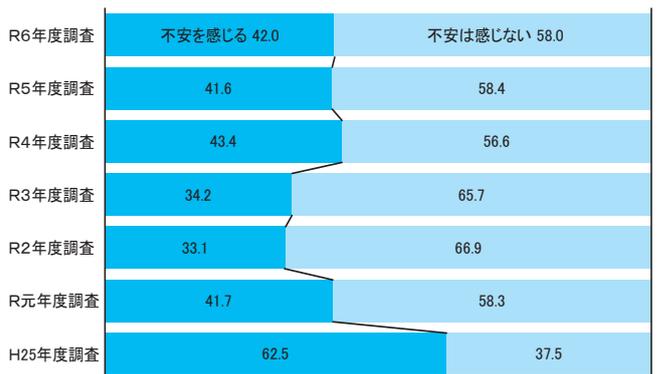
また、「不安を感じる」の理由のうち、「開通時期が不明」は理由総数の中で36.7%（前年度34.4%）を占めトップ。「工事の安全」18.4%、「環境への影響」17.1%が続いている。

期待できない理由、不安を感じる理由の中で、「開業時期が不明」は昨年度調査から大幅な増加とはなっていないが、期待できない、不安を感じる理由として、開業時期が不明もしくは開業時期の遅れに対する懸念が最重要と捉えられていることは確実とみられる。

Q リニア中央新幹線に期待していますか



Q リニア中央新幹線に不安を感じますか



### 3 リニア開業延期についての地域の見方

リニア開業が10年以上延期することが確定し、地域の皆さまはどう受け止めているか、意見を伺った。次頁に関連する項目について、回答をグラフで示した。

- ① リニア延期によりリニアを待ち望む気持ちは、岩盤の「変わらない」が52%。これに「やや強まった」、「強まった」を加えて58%を占めているが、反面「薄れた」「やや薄れた」が合計で40%を超えていることは無視できない状況と考える。
- ② 開業延期による環境負荷は「変わらない」46%だが、「やや増加」「増加」計で30%を超えることとなった。
- ③ 工事関係の事故については、「やや増加」「増加」計で27%に達する見方が示された。
- ④ 工事延期により、工事への地元の負担が「やや増加」「増加」計で50%超となっている。
- ⑤ 工事関係の人員不足が「やや逼迫」「逼迫」計で40%超となっている。
- ⑥ 地域の工事関係需要が工事延期により「やや増加」「増加」計で30%超とする見方がある。
- ⑦ 当地域の景況は「停滞」「やや停滞」が42%で「やや活況」「活況」計11%を大幅に上回っている。
- ⑧ 当地域の人口減少が「変わらない」51%に対し、「加速」「やや加速」計26%で「やや減速」「減速」計12%を上回っている。
- ⑨ 地域外からの資本流入は「変わらない」46%を境とし、「減少」「やや減少」計24%が「やや増加」「増加」計15%を上回っている。
- ⑩ 地域内のインフラ整備については、「やや増加」「増加」計が21%が「減少」「やや減少」計19%と拮抗している。
- ⑪ 業者間の競争は、「弱まる」「やや弱まる」計9%。「やや強まる」「強まる」計が20%と上回る。
- ⑫ 地域内の観光客数は「減少」「やや減少」計26%と「やや増加」「増加」計14%を上回る。
- ⑬ 製造品出荷額（通期）は、「減少」「やや減少」計12%で「やや増加」「増加」計10%を上回っているが、「変わらない」59%はアンケート各項目で最も高い数値となっている。
- ⑭ 地域の商品販売額は「減少」「やや減少」計19%が「やや増加」「増加」計14%を上回っている。
- ⑮ 地域への外国人旅行者数については、「減少」「やや減少」計20%と「やや増加」「増加」計12%を上回っている。
- ⑯ 地域の外国人労働者は「減少」「やや減少」計は10%。「やや増加」「増加」計23%が上回る。

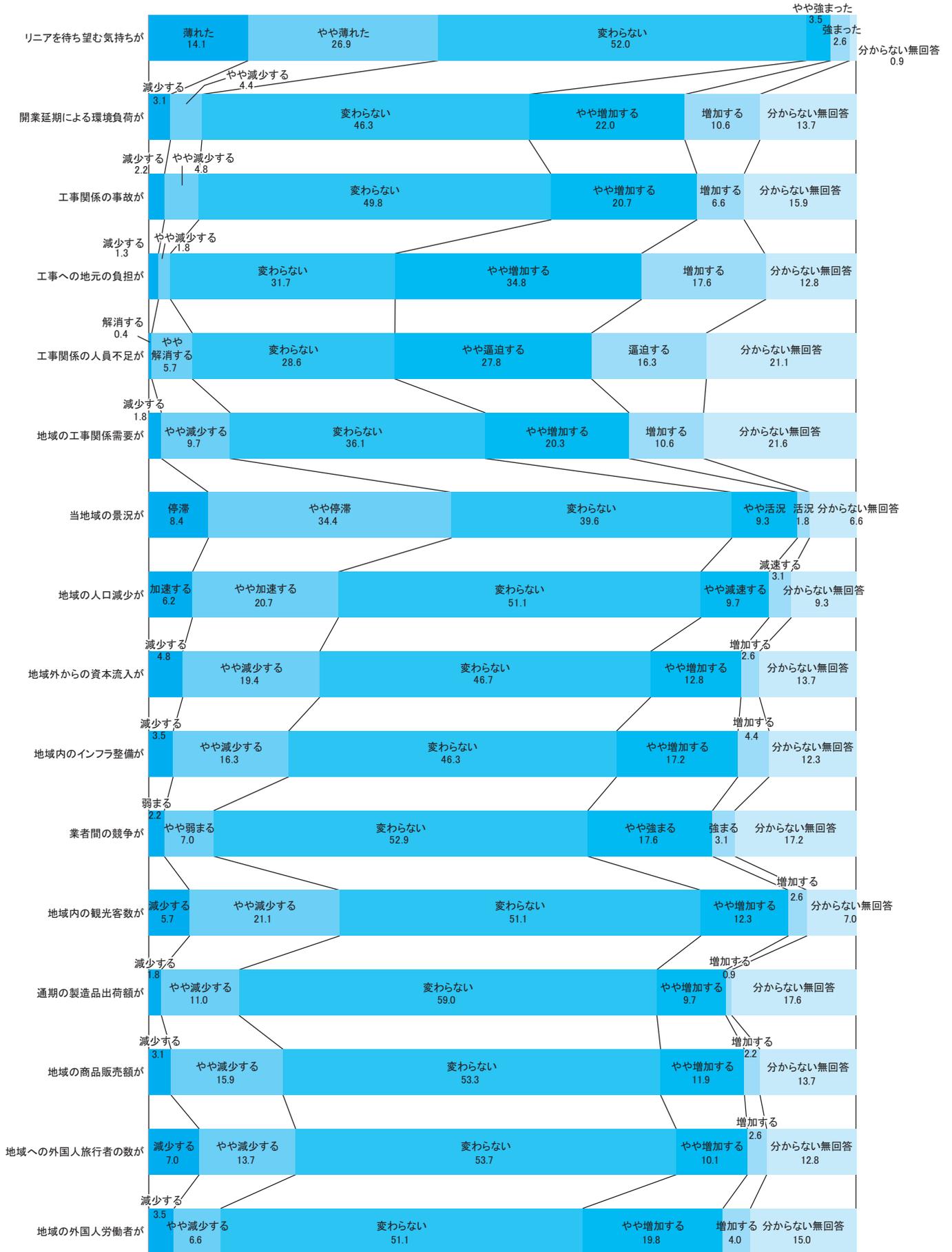
総じて、工事が長引くことで地域の環境や工事関係の事故など工事による影響が続き、地域の負担が増加することが懸念されている。工事関連需要は続くと見られているが、それにより地域の人員不足が深刻化すると予測されている。関連して外国人労働者は今後増加に向かうと考えられている。

リニア開通が遅れることで地域の人口減少が加速する。また地域外資本の流入が細り、観光客の来訪が増加に向かわないなど、商機を逸することが考えられている。これらから業者間競争は、強まるとする見方が優勢となっている。

当地域にとってリニア開通の遅れは景況にはマイナスと捉えられているが、その中で地域の製造品出荷額が「変わらない」と「やや増加」「増加」の合計で7割近くを占めており、関連の皆さま方の意気を感じる回答となっている。

Q リニア開業の延期が確定しての当地域の景気・経済に関する影響

(単位%)



(飯田信用金庫 しんきん南信州地域研究所 リニア・三遠南信対策室 加藤 修平)